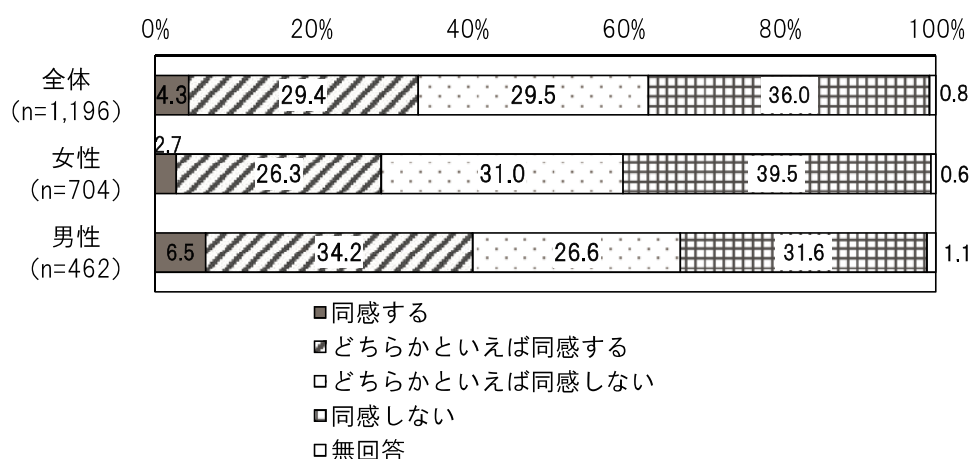


### 3. 男女の役割分担について

問2 「男は仕事、女は家事・育児」という考え方についてどう思いますか。

(あてはまるもの1つに○)

- ・「男は仕事、女は家事・育児」という考え方については、「同感しない」が36.0%と最も高く、「どちらかといえば同感しない」を合わせた『不同意』の割合は65.5%となっています。一方で「同感する」・「どちらかといえば同感する」を合わせた『同意』の割合は33.7%となっています。
- ・性別にみると、男性では『同意』の割合が40.7%と、女性（29.0%）より11.7ポイント高くなっています。
- ・性年代別にみると、概ね年代が上がるにつれ、『同意』（「同感する」+「どちらかといえば同感する」）の割合が高くなる傾向がみられ、男性の「70代以上」において、『同意』の割合が54.6%と『不同意』の割合（43.7%）を上回っています。



(%)

		回答者数	同感する	同意する どちらか といえば 同感	不同意 どちらか といえば 同感 しない	同感しない	無回答
女性	10~20代	58	3.4	13.8	20.7	62.1	-
	30代	105	1.0	21.0	23.8	54.3	-
	40代	121	2.5	27.3	26.4	43.0	0.8
	50代	129	0.8	17.1	32.6	48.8	0.8
	60代	137	4.4	27.0	41.6	27.0	-
	70代以上	153	3.3	41.2	32.7	21.6	1.3
男性	10~20代	29	10.3	24.1	24.1	41.4	-
	30代	59	6.8	20.3	27.1	44.1	1.7
	40代	79	5.1	32.9	26.6	32.9	2.5
	50代	93	5.4	34.4	25.8	34.4	-
	60代	92	4.3	33.7	26.1	35.9	-
	70代以上	110	9.1	45.5	28.2	15.5	1.8

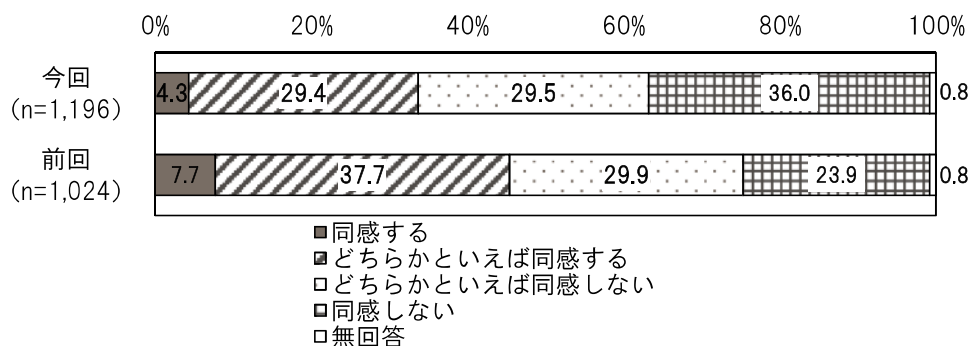
【(ウ) 結婚状況とのクロス集計】

- ・結婚状況別にみると、女性では「既婚・配偶者あり」・「既婚・離死別」で「どちらかといえ  
ば同感する」がやや高くなっています。男性では「既婚・配偶者あり」・「既婚・離死別」で  
「どちらかといえは同感する」が最も高くなっています。また、男性の「既婚・離死別」  
で、『同意』の割合が51.1%と、『不同意』(48.9%)を上回っています。

		(%)					
		回答者数	同感する	同感する どちらかといえは	同感しない どちらかといえは	同感しない	無回答
女性	未婚	196	1.5	19.9	30.6	46.9	1.0
	既婚・配偶者あり	309	2.9	<b>29.4</b>	24.9	42.1	0.6
	既婚・離死別	185	3.2	<b>28.1</b>	40.0	28.6	-
男性	未婚	100	9.0	26.0	29.0	36.0	-
	既婚・配偶者あり	314	5.1	<b>36.0</b>	27.4	29.9	1.6
	既婚・離死別	45	8.9	<b>42.2</b>	17.8	31.1	-

【前回調査との比較】

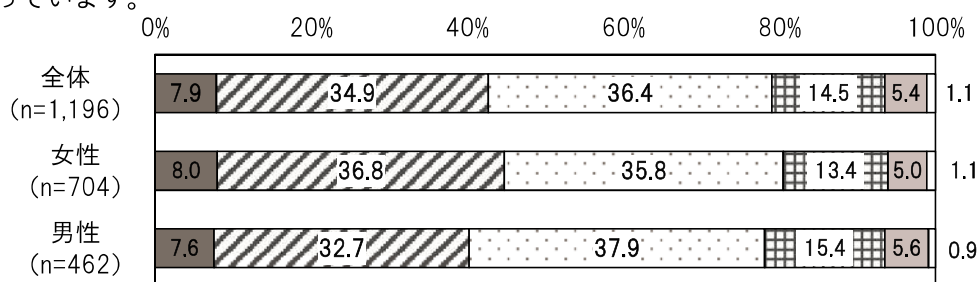
- ・前回調査と比較すると、『不同意』の割合が今回調査では65.5%と、前回調査(53.8%)より11.7ポイント増加しています。



問3 進路や職業を選択する際に、性別はどのくらい重要だと思いますか。

(あてはまるもの1つに○)

- ・進路や職業選択時の性別の重要さについては、「性別はあまり重要ではない」が36.4%と最も高い一方で、「どちらかといえば性別は重要だと思う」は34.9%となっています。
- ・性別による大きな差はみられません。
- ・性年代別にみると、女性の「40代」において、「性別はかなり重要だと思う」・「どちらかといえば性別は重要だと思う」を合わせた『重要だと思う』割合が56.2%と『重要でないと思う』（「性別はあまり重要ではない」+「性別は全く重要でない」）割合（38.8%）を上回っています。



性別はかなり重要だと思う  
 どちらかといえば性別は重要だと思う  
 性別はあまり重要ではない  
 性別は全く重要でない  
 わからない  
 無回答

		回答者数	性別の重要さ					わからない	無回答
			性別はどちらかといえば重要	性別はかなり重要	性別はあまり重要ではない	性別は全く重要でない	わからない		
女性	10~20代	58	8.6	36.2	36.2	17.2	1.7	-	
	30代	105	9.5	35.2	38.1	14.3	2.9	-	
	40代	121	9.9	46.3	22.3	16.5	3.3	1.7	
	50代	129	5.4	29.5	42.6	15.5	5.4	1.6	
	60代	137	8.0	35.0	39.4	10.9	6.6	-	
	70代以上	153	7.2	38.6	35.9	9.2	7.2	2.0	
男性	10~20代	29	13.8	27.6	24.1	27.6	6.9	-	
	30代	59	11.9	28.8	39.0	16.9	1.7	1.7	
	40代	79	7.6	27.8	44.3	12.7	7.6	-	
	50代	93	5.4	31.2	39.8	20.4	3.2	-	
	60代	92	5.4	42.4	29.3	14.1	7.6	1.1	
	70代以上	110	7.3	32.7	41.8	10.0	6.4	1.8	

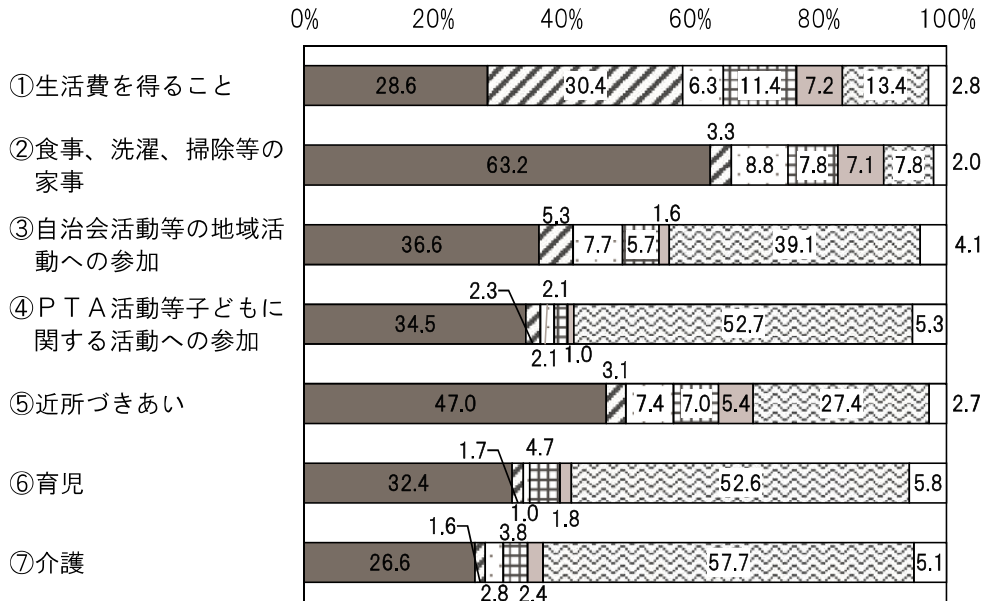
【前回調査との比較】

- ・前回調査と比較すると、全体で『重要でないと思う』割合が50.9%と、前回調査（39.4%）より11.5ポイント増加しています。

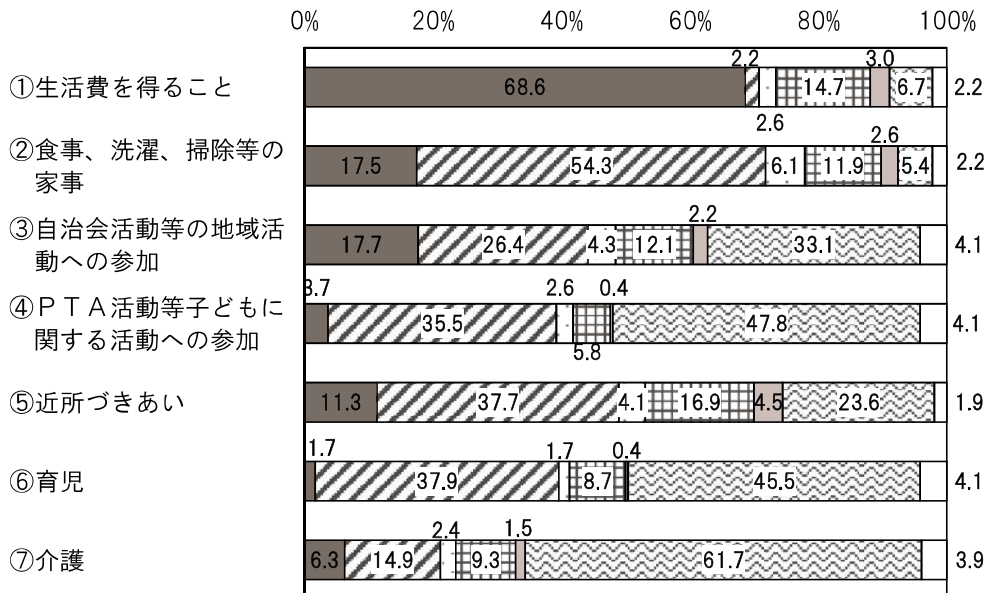
問4 家庭での役割に関する次の①～⑦の各項目において、あなたの現状を教えてください。  
(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

・女性では「①生活費を得ること」以外の役割を担うことが高く、男性は「①生活費を得ること」を担うことが多い結果となっています。また、女性では「①生活費を得ること」、男性では「①生活費を得ること」以外の役割を配偶者が担うことが多い結果となっています。

【女性 (n = 704)】



【男性 (n = 462)】



- わたしが担うことが多い
- ▨ 配偶者が担うことが多い
- ▩ その他家族が担うことが多い
- ▤ わたしと配偶者が同じくらい
- ▥ わたしとその他家族が同じくらい
- あてはまらない
- 無回答



【(キ) 就労状況別のクロス集計】

- ・「①生活費を得ること」について就労状況別にみると、就労していない女性では「配偶者が担うことが多い」が最も高くなっている一方で、それ以外の項目では「わたしが担うことが多い」が最も高くなっています。また、就労している女性では「配偶者が担うことが多い」が2割以上を占め男性より高くなっています。

(%)

		① 生活費を得ること								
		全 体	わ た し が 担 う こ と が 多 い	配 偶 者 が 担 う こ と が 多 い	そ の 他 家 族 が 担 う こ と が 多 い	わ た し と 配 偶 者 が 同 じ く ら い	家 族 が 同 じ く ら い	わ た し と そ の 他	あ て は ま ら な い	無 回 答
女性	就労している	438	<b>36.1</b>	21.5	7.3	14.2	8.9	10.5	1.6	
	就労していない	226	16.8	<b>47.8</b>	4.9	5.8	4.0	17.7	3.1	
男性	就労している	334	<b>72.8</b>	2.1	2.7	14.4	3.3	3.9	0.9	
	就労していない	118	<b>55.9</b>	2.5	2.5	16.9	2.5	13.6	5.9	

- ・「②食事、洗濯、掃除等の家事」について就労状況別にみると、男性では就労状況に関わらず、「配偶者が担うことが多い」が最も高くなっている一方で、女性では就労状況に関わらず「わたしが担うことが多い」が最も高くなっています。

(%)

		② 食事、洗濯、掃除等の家事								
		全 体	わ た し が 担 う こ と が 多 い	配 偶 者 が 担 う こ と が 多 い	そ の 他 家 族 が 担 う こ と が 多 い	わ た し と 配 偶 者 が 同 じ く ら い	家 族 が 同 じ く ら い	わ た し と そ の 他	あ て は ま ら な い	無 回 答
女性	就労している	438	<b>58.2</b>	1.8	12.3	9.6	8.2	8.9	0.9	
	就労していない	226	<b>73.5</b>	5.3	2.2	5.8	5.3	5.8	2.2	
男性	就労している	334	16.2	<b>57.5</b>	6.6	12.0	3.3	3.6	0.9	
	就労していない	118	22.0	<b>44.9</b>	5.1	12.7	0.8	8.5	5.9	

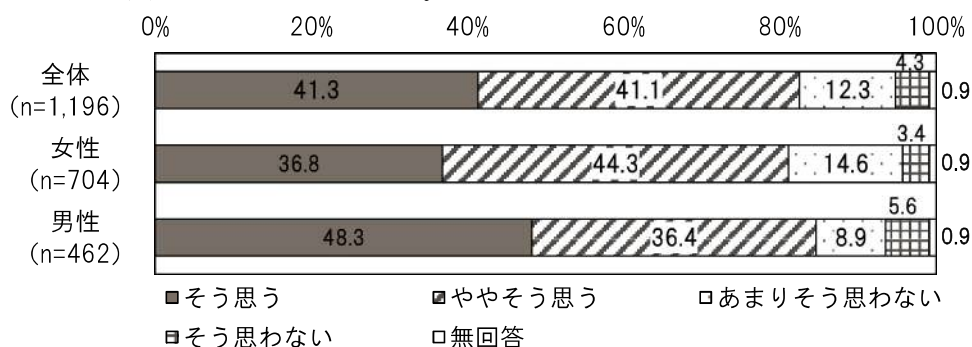
【前回調査との比較】

- ・前回調査と比較すると、女性において、「①生活費を得ること」の「わたしが担うことが多い」の割合が28.6%と、前回調査（20.3%）より8.3ポイント以上増加しています。

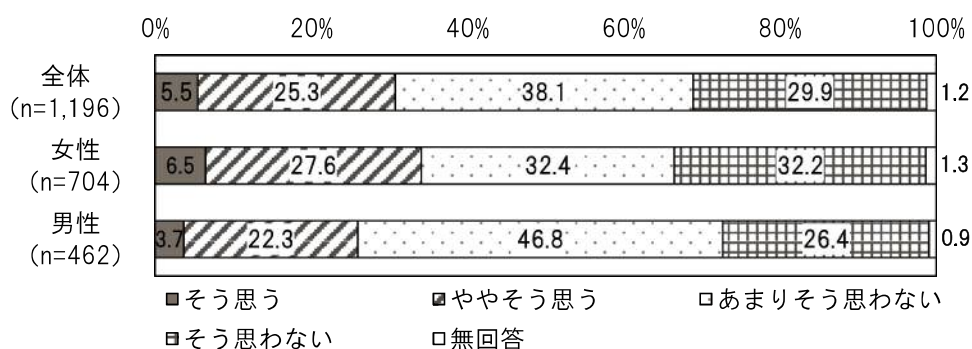
問5 男女に関する次の①～③のような考え方についてどう思いますか。

(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

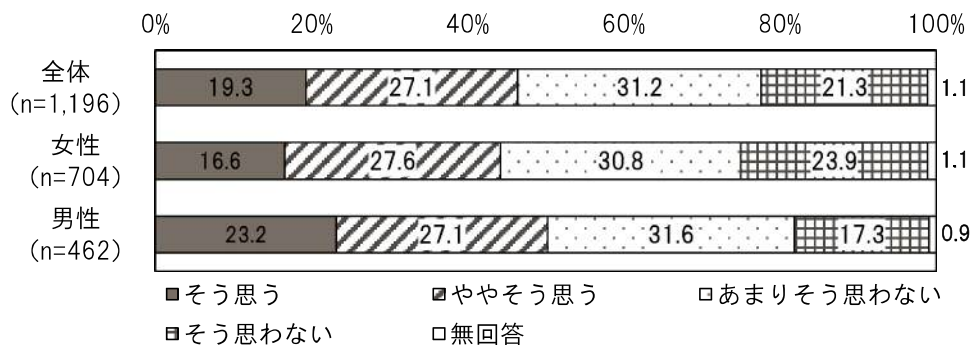
- ① 人から危害を加えられそうになったとき、身を守るには、やはり男性でないとだめだと思う
- ・人から危害を加えられそうになったとき、身を守るには、やはり男性でないとだめだと思うという考え方については、「そう思う」が41.3%と最も高く、「ややそう思う」(41.1%)と合わせると82.4%となっています。
  - ・性別による大きな差はみられません。



- ② 親が病気や介護を必要とするとき、やはり女性が面倒をみるべきだと思う
- ・親が病気や介護を必要とするとき、やはり女性が面倒をみるべきだと思うという考え方については、「あまりそう思わない」が38.1%と最も高く、「そう思わない」(29.9%)と合わせると68.0%となっています。
  - ・性別にみると、男性で『そう思わない』(「あまりそう思わない」+「そう思わない」)が73.2%と、女性(64.6%)よりやや高くなっています。



- ③ 大地震や火事など緊急事態のとき、その場を取り仕切るのは、やはり男性でないとだめだと思う
- ・ 大地震や火事など緊急事態のとき、その場を取り仕切るのは、やはり男性でないとだめだと思うという考え方については、「あまりそう思わない」が31.2%と最も高く、「そう思わない」(21.3%)と合わせると52.5%となっています。
  - ・ 性別にみると、女性で『そう思わない』(「あまりそう思わない」+「そう思わない」)が54.7%と、男性(48.9%)よりやや高くなっています。

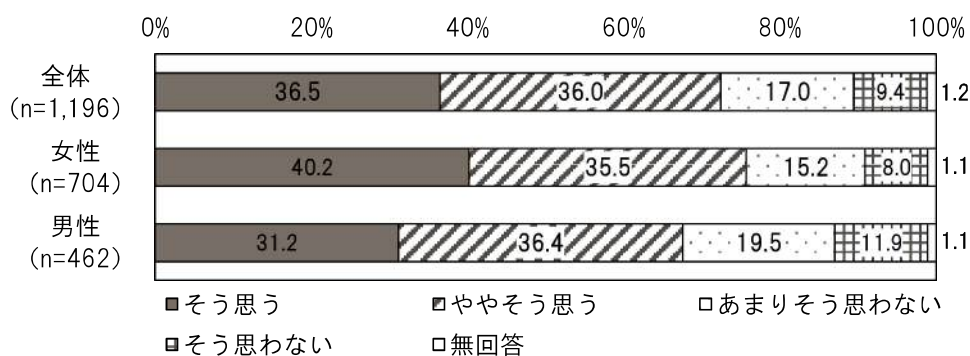


【前回調査との比較】

- ・ 前回調査と比較すると、全体で『そう思わない』割合が52.5%と、前回調査(41.3%)より11.2ポイント増加しています。

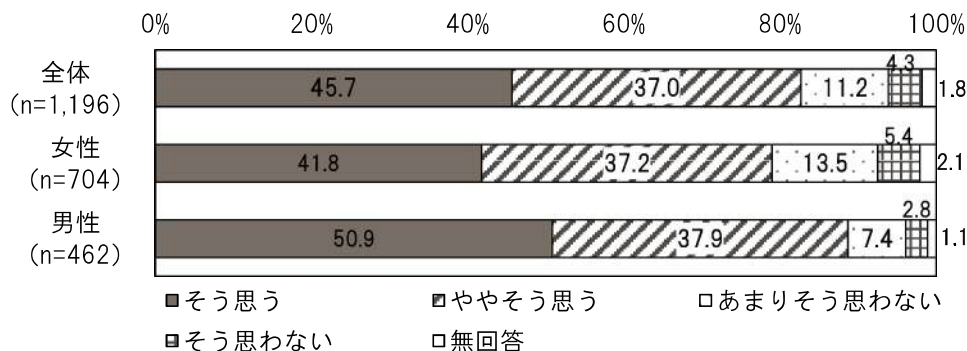
④ 健康や生活に関わることがらに敏感なのは、女性だと思う

- ・ 健康や生活に関わることがらに敏感なのは、女性だと思うという考え方については、「そう思う」が36.5%と最も高く、「ややそう思う」(36.0%)と合わせると72.5%となっています。
- ・ 性別にみると、女性で『そう思う』(「そう思う」+「ややそう思う」)が75.7%と、男性(67.6%)よりやや高くなっています。



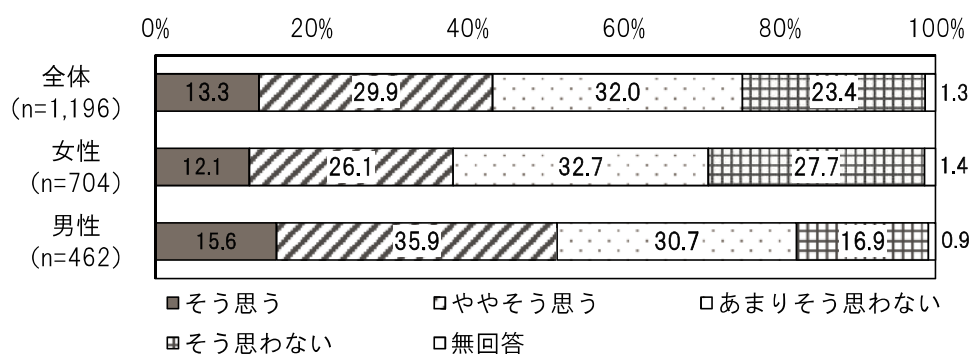
⑤ 重いものを運んでもらうとき、やはり男性でないとだめだと思う

- ・ 重いものを運んでもらうとき、やはり男性でないとだめだと思うという考え方については、「そう思う」が45.7%と最も高く、「ややそう思う」(37.0%)と合わせると82.7%となっています。
- ・ 性別にみると、男性で『そう思う』(「そう思う」+「ややそう思う」)が88.8%と、女性(79.0%)よりやや高くなっています。



⑥ 子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たず育児に専念すべきだと思う

- ・ 子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たず育児に専念すべきだと思うという考え方については、「あまりそう思わない」が32.0%と最も高く、「そう思わない」(23.4%)と合わせると55.4%となっています。
- ・ 性別にみると、女性で『そう思わない』(「あまりそう思わない」+「そう思わない」)が60.4%と、男性(47.6%)より高くなっています。

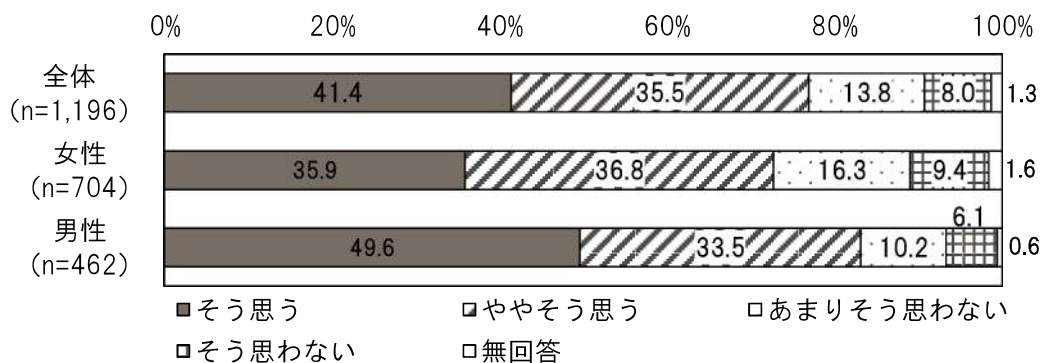


【前回調査との比較】

- ・ 前回調査と比較すると、全体で『そう思わない』割合が55.4%と、前回調査(40.9%)より14.5ポイント増加しています。

⑦ 夫は家族のために収入を得る責任を持つべきだと思う

- ・夫は家族のために収入を得る責任を持つべきだと思うという考え方については、「そう思う」が41.4%と最も高く、「ややそう思う」(35.5%)と合わせると76.9%となっています。
- ・性別にみると、男性で『そう思う』(「そう思う」+「ややそう思う」)が83.1%と、女性(72.7%)より高くなっています。

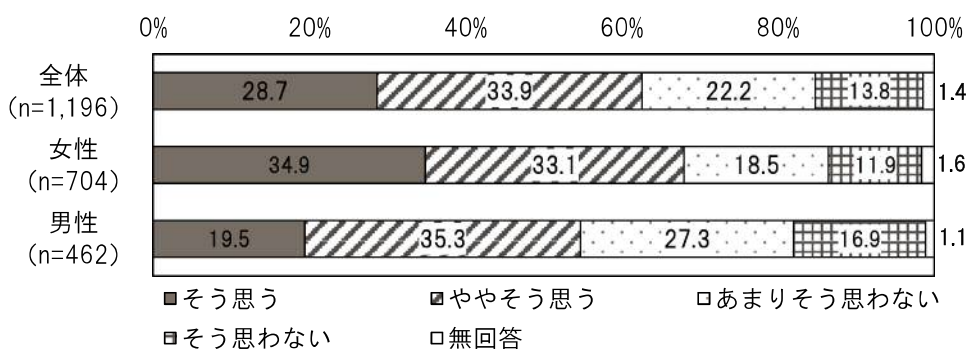


【前回調査との比較】

- ・前回調査と比較すると、全体で『そう思わない』(「あまりそう思わない」+「そう思わない」)割合が21.8%と、前回調査(13.6%)より8.2ポイント増加しています。

⑧ 子どもが病気などで苦しんでいるとき、それを我が事として感じとれるのは、やはり母親だと思う

- ・子どもが病気などで苦しんでいるとき、それを我が事として感じとれるのは、やはり母親だと思うという考え方については、「ややそう思う」が33.9%と最も高く、「そう思う」(28.7%)と合わせると62.6%となっています。
- ・性別にみると、女性で『そう思う』(「そう思う」+「ややそう思う」)が68.0%と、男性(54.8%)より高くなっています。

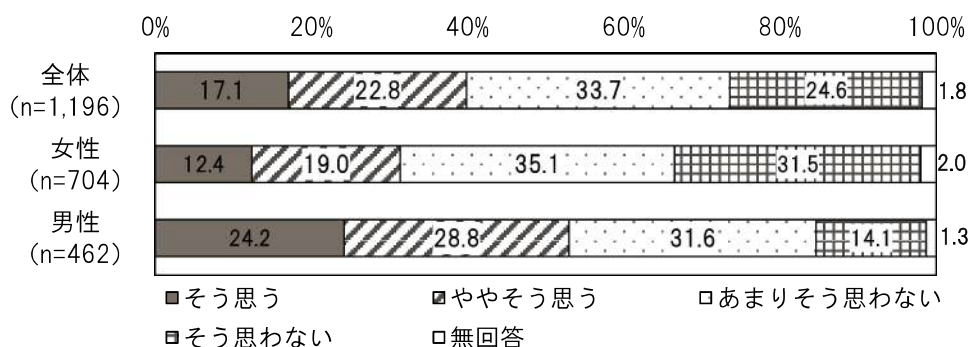


【前回調査との比較】

- ・前回調査と比較すると、全体で『そう思わない』(「あまりそう思わない」+「そう思わない」)割合が36.0%と、前回調査(26.6%)より9.4ポイント増加しています。

⑨ 男性はむやみに弱音を吐くものではないと思う

- ・男性はむやみに弱音を吐くものではないと思うという考え方については、「あまりそう思わない」が33.7%と最も高く、「そう思わない」(24.6%)と合わせると58.3%となっています。
- ・性別にみると、男性で『そう思う』(「そう思う」+「ややそう思う」)が53.0%と、女性(31.4%)より高くなっています。

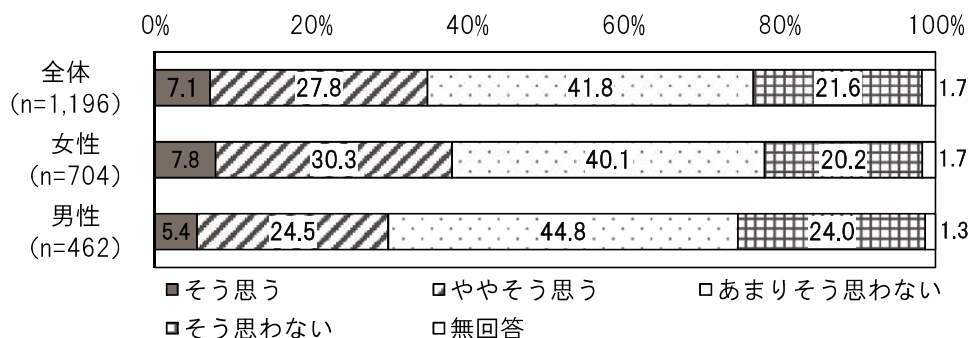


【前回調査との比較】

- ・前回調査と比較すると、全体で『そう思わない』(「あまりそう思わない」+「そう思わない」)割合が58.3%と、前回調査(42.9%)より15.4ポイント増加しています。

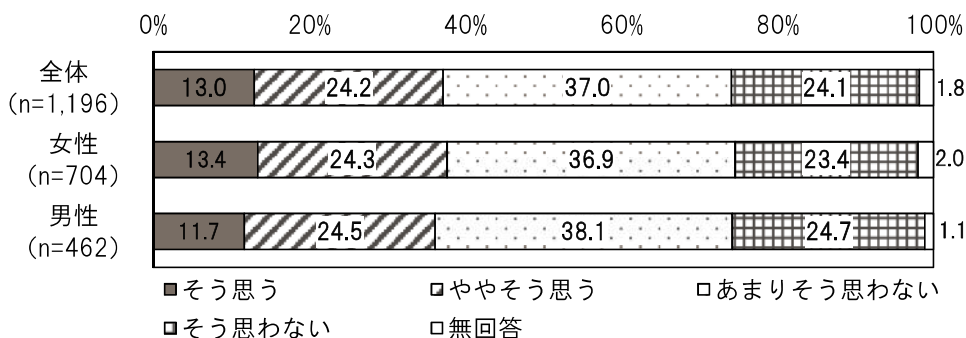
⑩ 生活者優先の政治を本当に押し進められるのは、やはり女性議員だと思う

- ・生活者優先の政治を本当に押し進められるのは、やはり女性議員だと思うという考え方については、「あまりそう思わない」が41.8%と最も高く、「そう思わない」(21.6%)と合わせると63.4%となっています。
- ・性別にみると、女性で『そう思う』(「そう思う」+「ややそう思う」)が38.1%と、男性(29.9%)よりやや高くなっています。



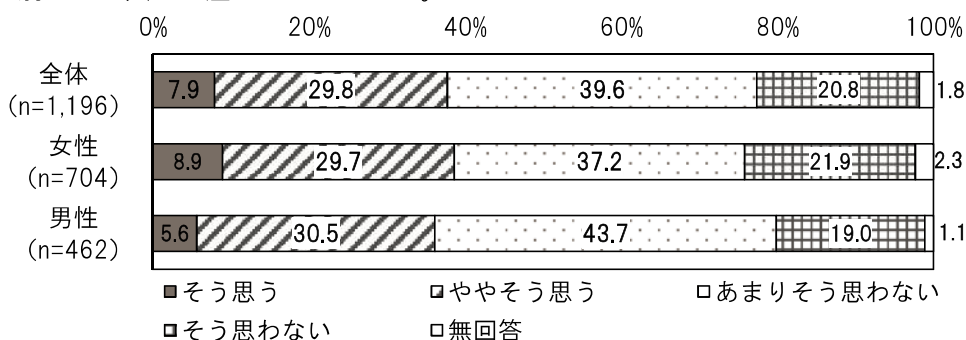
⑪ 最終的に頼りになるのは、やはり男性であると思う

- ・最終的に頼りになるのは、やはり男性であると思うという考え方については、「あまりそう思わない」が37.0%と最も高く、「そう思わない」(24.1%)と合わせると61.1%となっています。
- ・性別による大きな差はみられません。



⑫ 妻は家族のために家事や育児をする責任を持つべきだと思う

- ・妻は家族のために家事や育児をする責任を持つべきだと思うという考え方については、「あまりそう思わない」が39.6%と最も高く、「そう思わない」(20.8%)と合わせると60.4%となっています。
- ・性別による大きな差はみられません。

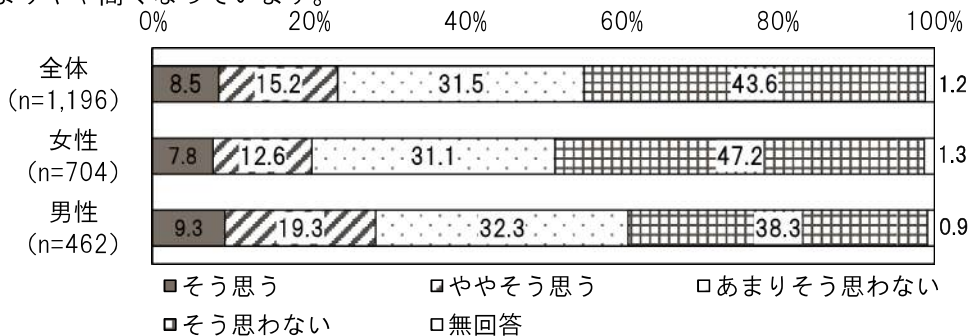


【前回調査との比較】

- ・前回調査と比較すると、全体で『そう思わない』(「あまりそう思わない」+「そう思わない」)割合が60.4%と、前回調査(43.5%)より16.9ポイント増加しています。

⑬ 妻は夫側の墓に入るべきだと思う

- ・妻は夫側の墓に入るべきだと思うという考え方については、「そう思わない」が43.6%と最も高く、「あまりそう思わない」(31.5%)と合わせると75.1%となっています。
- ・性別にみると、男性で『そう思う』(「そう思う」+「ややそう思う」)が28.6%と、女性(20.4%)よりやや高くなっています。



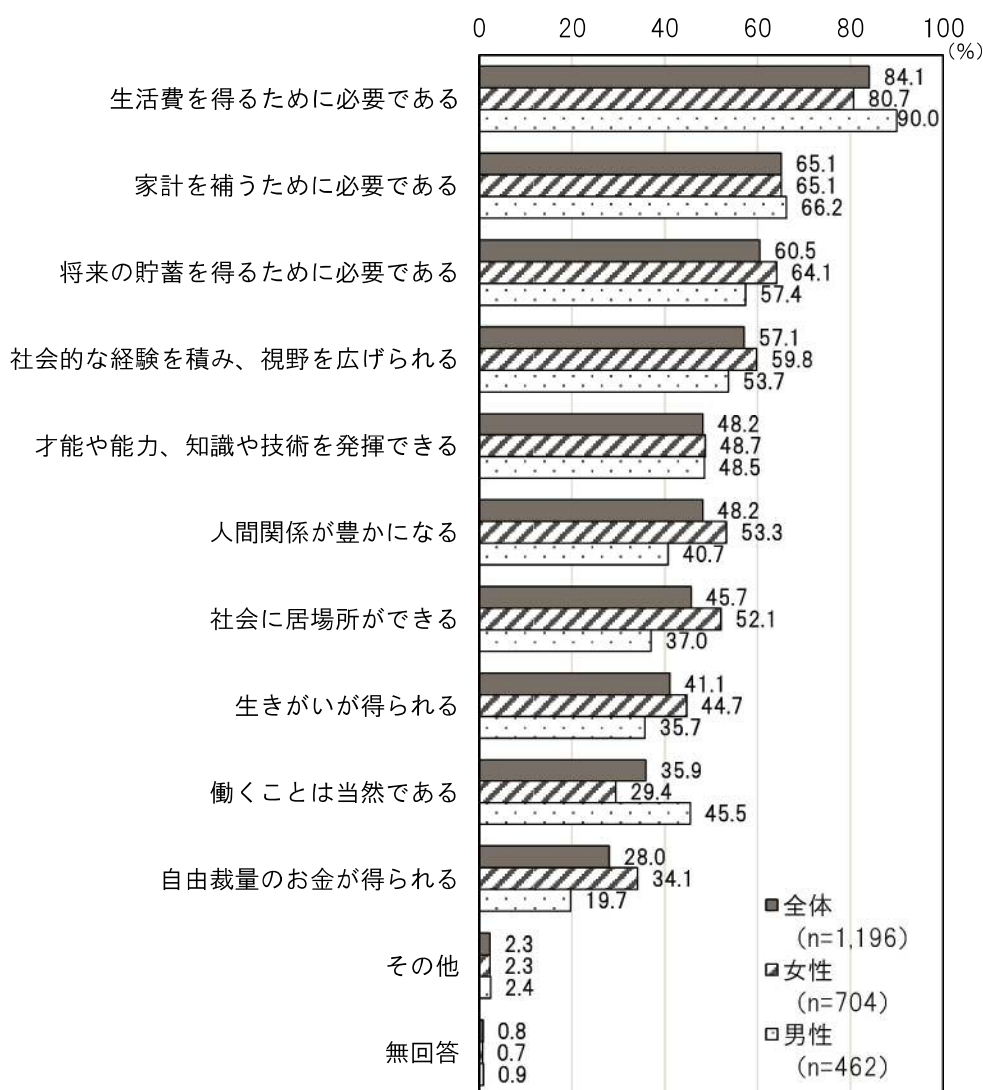


#### 4. 女性が働き続けるために必要なこと

問6 あなたは、仕事についてどのようにお考えですか。

(あてはまるものすべてに○)

- ・仕事についての考えについては、「生活費を得るために必要である」が84.1%と最も高く、次いで「家計を補うために必要である」(65.1%)、「将来の貯蓄を得るために必要である」(60.5%)となっています。
- ・性別にみると、女性では「人間関係が豊かになる」・「社会に居場所ができる」・「自由裁量のお金が得られる」と回答した割合が高くなっている一方で、男性では「働くことは当然である」と回答した割合が高くなっています。





【(キ) 就労状況別でのクロス集計】

- ・就労状況別にみると、男女ともに「就労している」では、「生きがいを得られる」が4割未満となっており、「就労していない」男女に比べると低い結果となっています。

(%)

		回答者数	才能や能力、知識や技術を発揮できる	社会的な経験を積み、視野を広げられる	生きがいを得られる	人間関係が豊かになる	社会に居場所ができる	生活費を得るために必要である	家計を補うために必要である	将来の貯蓄を得るために必要である	自由裁量のお金を得られる
女性	就労している	438	50.2	63.5	<b>38.8</b>	51.1	55.9	85.2	66.0	67.8	35.6
	就労していない	226	46.0	54.0	<b>56.2</b>	58.0	46.5	73.5	65.9	59.3	32.7
男性	就労している	334	49.7	52.7	<b>30.2</b>	40.1	38.6	91.3	66.5	60.2	19.2
	就労していない	118	45.8	56.8	<b>48.3</b>	43.2	31.4	89.0	65.3	50.0	20.3

		回答者数	働くことは当然である	その他	無回答
女性	就労している	438	30.8	2.3	-
	就労していない	226	28.3	1.3	1.3
男性	就労している	334	41.0	1.5	-
	就労していない	118	58.5	5.1	3.4

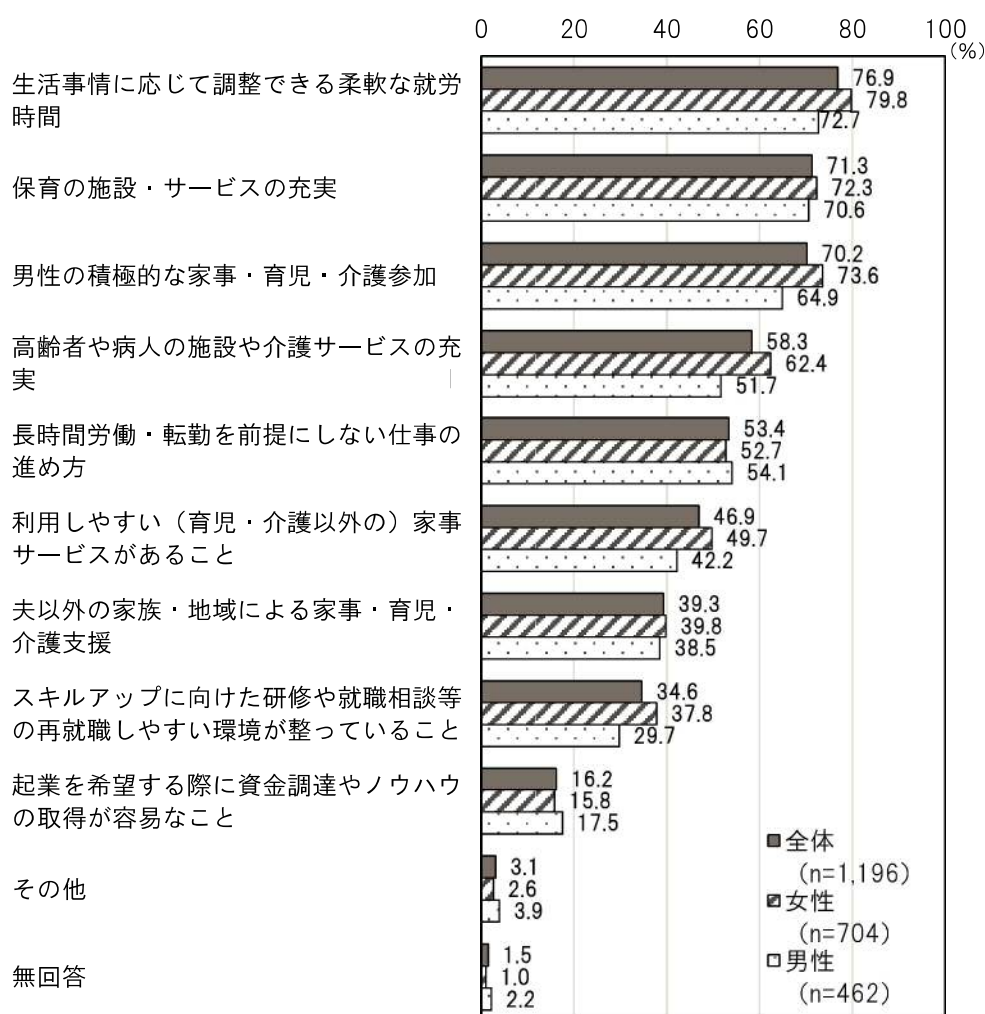
【前回調査との比較】

- ・前回調査と比較すると、女性で「社会に居場所ができる」が52.1%と、前回調査（44.6%）より7.5ポイント増加しています。男性では、「家計を補うために必要である」が66.2%と、前回調査（57.6%）より8.6ポイント増加した一方で、「社会に居場所ができる」・「働くことは当然である」で、前回調査よりやや低い結果となっています。

問7 あなたは、就労を希望する女性が働き続けられるようにするために、どのような就労環境が必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- ・就労を希望する女性が働き続けられるために必要な就労環境については、「生活事情に応じて調整できる柔軟な就労時間」が76.9%と最も高く、次いで「保育の施設・サービスの充実」(71.3%)、「男性の積極的な家事・育児・介護参加」(70.2%)となっています。
- ・性別にみると、女性で「高齢者や病人の施設や介護サービスの充実」と回答した割合が高くなっています。



【(キ) 就労状況別でのクロス集計】

- ・就労状況別にみると、女性では「就労している」で「保育施設・サービスの充実」がやや高くなっています。また、男性では「就労している」で「生活事情に応じて調整できる柔軟な労働時間」が、「就労していない」で「保育の施設・サービスの充実」が最も高くなっています。

(%)

		回答者数	男性の積極的な家事・育児・介護参加	夫以外の家族・地域による家事・育児・介護支援	保育の施設・サービスの充実	高齢者や病人の施設や介護サービスの充実	利用しやすい(育児・介護以外の)家事サービスがあること	スキルアップに向けた研修や就職相談等の再就職しやすい環境が整っていること	起業を希望する際に資金調達やノウハウの取得が容易なこと	長時間労働・転勤を前提にしない仕事の進め方	生活事情に応じて調整できる柔軟な就労時間
女性	就労している	438	74.9	40.2	<b>75.6</b>	60.5	51.6	37.9	15.3	55.3	81.1
	就労していない	226	<b>73.0</b>	41.2	69.0	66.8	49.1	39.4	17.7	50.0	82.3
男性	就労している	334	67.4	39.5	70.7	48.2	41.9	28.4	18.0	59.3	<b>74.6</b>
	就労していない	118	59.3	34.7	<b>71.2</b>	63.6	42.4	33.1	16.1	40.7	67.8

		回答者数	その他	無回答
女性	就労している	438	3.2	0.5
	就労していない	226	1.8	0.9
男性	就労している	334	3.0	0.3
	就労していない	118	6.8	6.8

【前回調査との比較】

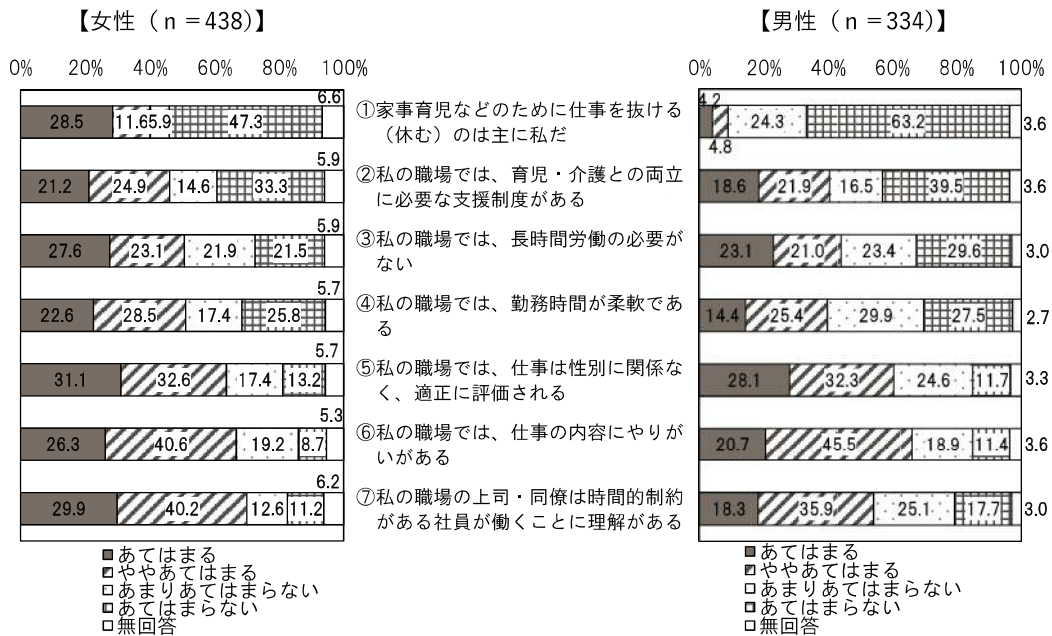
- ・前回調査と比較すると、「利用しやすい(育児・介護以外の)家事サービスがあること」が全体で46.9%と、前回調査(39.4%)より7.5ポイント増加しています。

((キ)で「自営業」・「正規社員・職員」・「非正規社員・職員」・「就労している学生」のいずれかを回答した方のみ)

問8 職場環境に関する次の①～⑦の各項目において、あなたの現状を教えてください。

(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

- ・女性では、「①家事育児などのために仕事を抜ける(休む)のは主に私だ」・「②私の職場では、育児・介護との両立に必要な支援制度がある」で『あてはまらない』(「あまりあてはまらない」+「あてはまらない」)が、『あてはまる』(「あてはまる」+「ややあてはまる」)より高くなっています。
- ・男性では、「①家事育児などのために仕事を抜ける(休む)のは主に私だ」・「②私の職場では、育児・介護との両立に必要な支援制度がある」・「③私の職場では長時間労働の必要がない」・「④私の職場では、勤務時間が柔軟である」で『あてはまらない』が『あてはまる』より高くなっています。



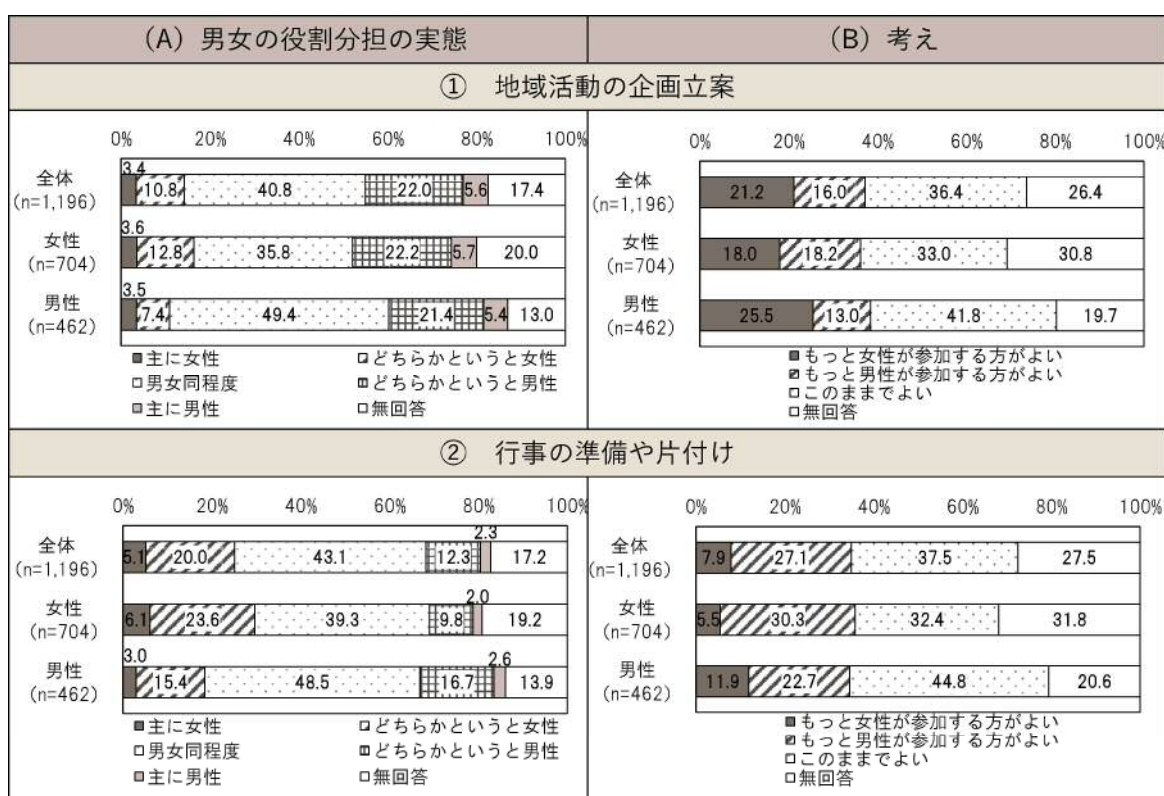
**【前回調査との比較】**

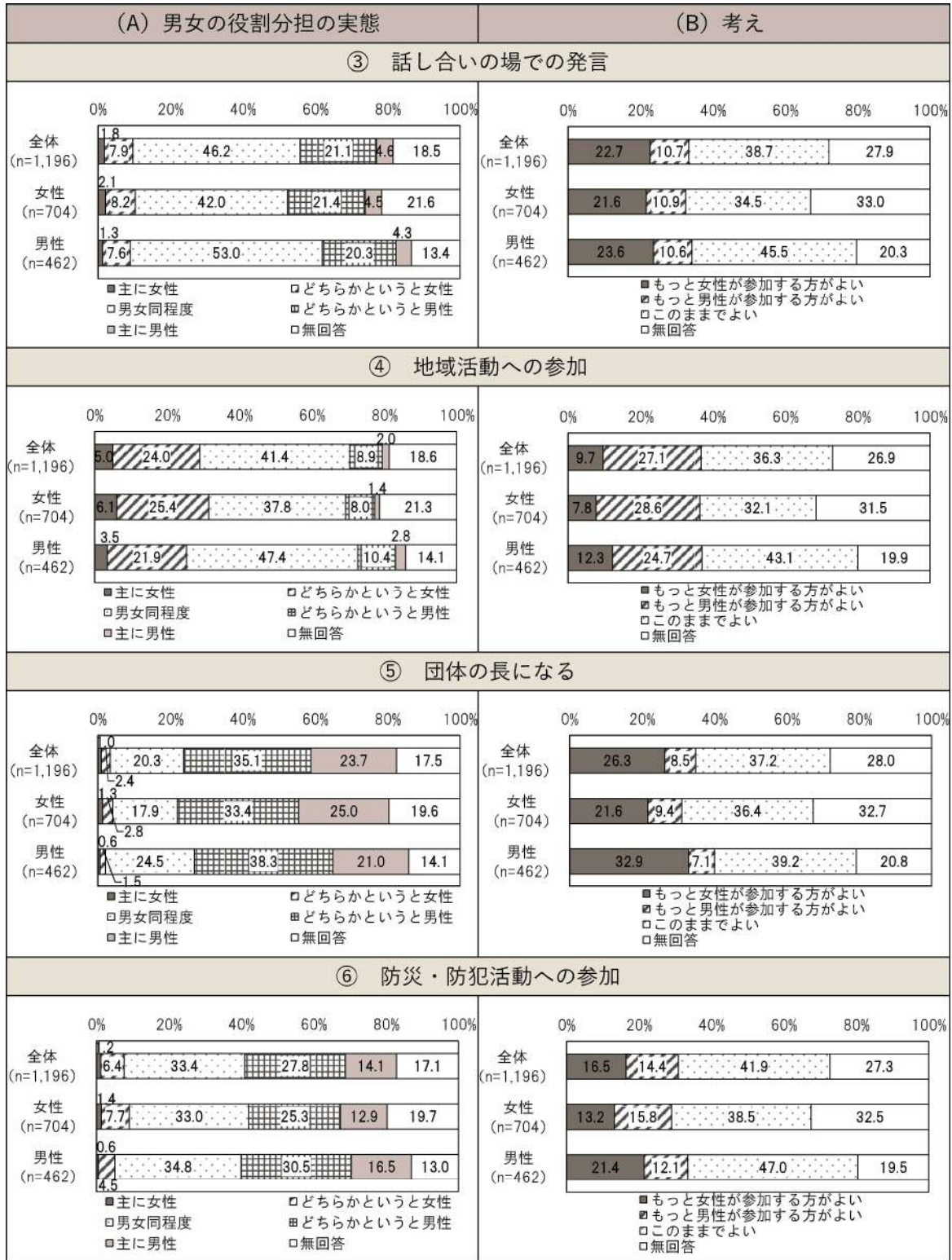
- ・前回調査と比較すると、女性では、「④家事育児などのために仕事を抜ける(休む)のは主に私だ」で『あてはまらない』割合が53.2%と、前回調査(39.5%)より13.7ポイント増加しています。また、「⑦私の職場の上司・同僚は時間的制約がある社員が働くことに理解がある」で『あてはまる』割合が70.1%と、前回調査(53.9%)より16.2ポイント増加しています。
- ・男性では、「③私の職場では、長時間労働の必要がない」で『あてはまる』割合が44.1%と、前回調査(31.9%)より12.2ポイント増加しています。

## 5. 地域活動における男女の役割分担について

問9 単位福祉協会（自治会）、ボランティアなどの地域活動に関する①～⑥の項目について、  
 (A) 男女の役割分担の実態と、(B) それについてのあなたの考えを教えてください。  
 (それぞれ、あてはまるもの1つに○)

- ・実態については、「⑤団体の長になる」を除いて、「男女同程度」が最も高くなっているものの、「①地域活動の企画立案」・「③話し合いの場での発言」・「⑤団体の長になる」・「⑥防災・防犯活動への参加」では『男性』（「主に男性」+「どちらかというとな男性」）が高くなっており、「②行事の準備や片付け」・「④地域活動への参加」では『女性』（「主に女性」+「どちらかというとな女性」）が高くなっています。
- ・考えについては、全ての項目で「このままでよい」が最も高くなっているものの、(A) 役割分担の実態で『男性』が多かった項目（「①地域活動の企画立案」・「③話し合いの場での発言」・「⑤団体の長になる」・「⑥防災・防犯活動への参加」）では、「もっと女性が参加する方がよい」が高く、『女性』が多い項目（「②行事の準備や片付け」・「④地域活動への参加」）では「もっと男性が参加する方がよい」が高くなっています。
- ・また、考えにおいて、女性での無回答の割合が全ての項目で3割以上となっており、男性より10ポイント程度高い結果となっています。





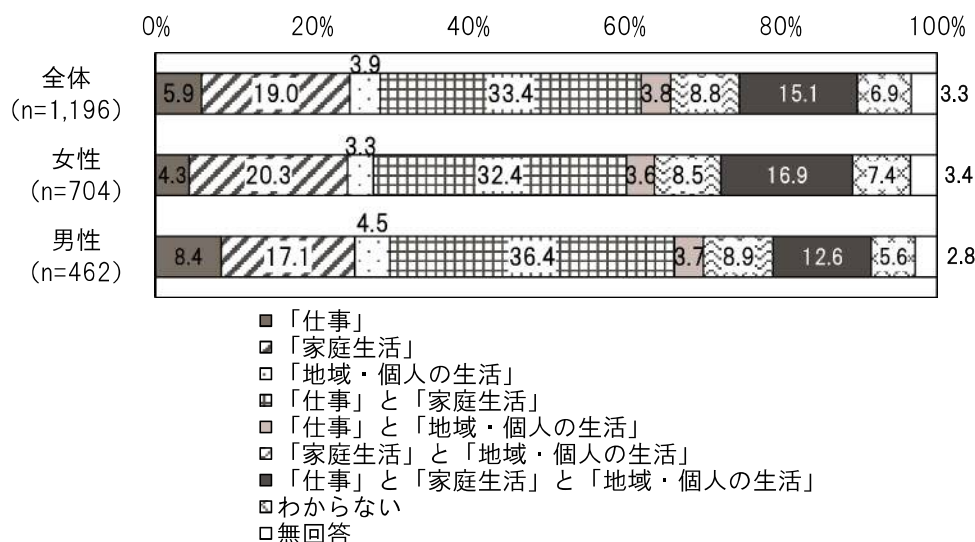


6. 仕事、家庭生活、地域活動、個人の生活の優先度などについて

問 10-1 あなたの希望に最も近いものを教えてください。

(○は1つ)

- ・希望については、「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」が33.4%と最も高く、次いで「家庭生活」を優先したい(19.0%)、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活をともに優先したい」(15.1%)となっています。
- ・性別による大きな差はみられません。



【(キ) 就労状況別でのクロス集計】

- ・就労状況別にみると、男女とも「就労している」で「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」が最も高く、「就労していない」で「家庭生活」を優先したい」が最も高くなっています。

		回答者数	「仕事」を優先したい	「家庭生活」を優先したい	「地域・個人の生活」を優先したい	「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	わからない	無回答
女性	就労している	438	5.0	12.3	3.2	<b>42.0</b>	4.3	6.6	19.2	6.4	0.9
	就労していない	226	3.1	<b>35.4</b>	3.1	15.9	1.8	12.8	13.7	8.8	5.3
男性	就労している	334	9.0	16.2	2.7	<b>43.1</b>	3.3	5.7	14.4	4.2	1.5
	就労していない	118	6.8	<b>21.2</b>	9.3	17.8	4.2	16.9	8.5	10.2	5.1

【(ウ) 結婚状況別でのクロス集計】

・結婚状況別にみると、「既婚・配偶者あり」の女性では「家庭生活」を優先したい」が30.1%と3割以上を占め、やや高くなっています。また、「既婚・配偶者あり」の男性では、「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」が4割以上を占め、「未婚」・「既婚・離死別」の男性より高くなっています。

(%)

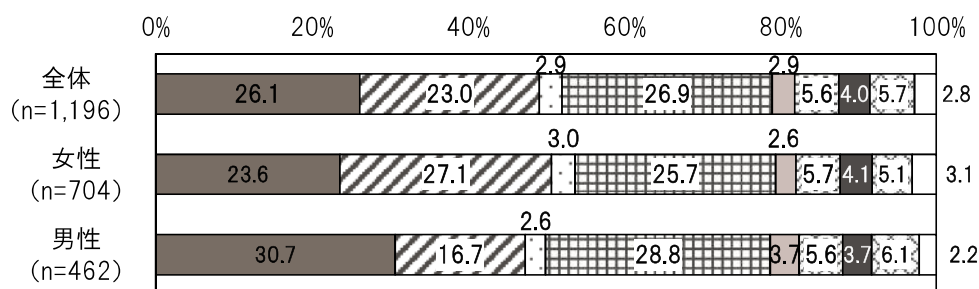
		回答者数	「仕事」を優先したい	「家庭生活」を優先したい	「地域・個人の生活」を優先したい	「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	わからない	無回答
女性	未婚	196	6.1	9.2	5.1	38.8	6.6	8.2	14.8	8.2	3.1
	既婚・配偶者あり	309	3.6	<b>30.1</b>	2.3	31.1	1.0	8.7	16.8	3.6	2.9
	既婚・離死別	185	3.8	15.7	2.7	29.2	4.9	8.6	18.9	13.0	3.2
男性	未婚	100	11.0	13.0	9.0	29.0	8.0	9.0	8.0	9.0	4.0
	既婚・配偶者あり	314	7.6	18.5	1.6	<b>41.4</b>	1.9	9.2	14.3	3.5	1.9
	既婚・離死別	45	6.7	15.6	15.6	20.0	6.7	6.7	8.9	13.3	6.7



問 10-2 あなたの現実・現状に最も近いものを教えてください。

(○は1つ)

- ・現実・現状に最も近いものについては、「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」が26.9%と最も高く、次いで「仕事」を優先している」(26.1%)、「家庭生活」を優先している」(23.0%)となっています。
- ・性別にみると、女性では「家庭生活」を優先している」が27.1%と最も高い一方で、男性では「仕事」を優先している」が30.7%と最も高くなっています。



- 「仕事」
- 「家庭生活」
- 「地域・個人の生活」
- 「仕事」と「家庭生活」
- 「仕事」と「地域・個人の生活」
- 「家庭生活」と「地域・個人の生活」
- 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」
- わからない
- 無回答

【(キ) 就労状況別でのクロス集計】

- ・就労状況別にみると、女性では「就労している」で「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」が最も高く、「就労していない」で「家庭生活」を優先している」が最も高くなっています。男性では「就労している」で「仕事」を優先している」が最も高く、「就労していない」で「家庭生活」を優先している」が最も高くなっています。

(%)

		回答者数	「仕事」を優先している	「家庭生活」を優先している	「地域・個人の生活」を優先している	「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	わからない	無回答
女性	就労している	438	34.9	9.4	1.1	<b>37.9</b>	3.9	3.0	5.7	3.2	0.9
	就労していない	226	3.1	<b>61.1</b>	6.6	4.4	-	11.5	1.8	7.1	4.4
男性	就労している	334	<b>38.9</b>	8.7	0.9	36.5	4.2	1.8	3.6	4.2	1.2
	就労していない	118	7.6	<b>39.8</b>	6.8	8.5	2.5	15.3	4.2	11.0	4.2

【(ウ) 結婚状況別でのクロス集計】

・結婚状況別にみると、「未婚」の女性では「仕事」を優先している」が4割以上を占め最も高く、「既婚・配偶者あり」・「既婚・離死別」の女性では「家庭生活」を優先している」が最も高くなっています。また、男性では、「未婚」で「仕事」を優先している、「既婚・配偶者あり」で「仕事」と「家庭生活」をともに優先している、「既婚・離死別」で「家庭生活」を優先している」がそれぞれ最も高くなっています。

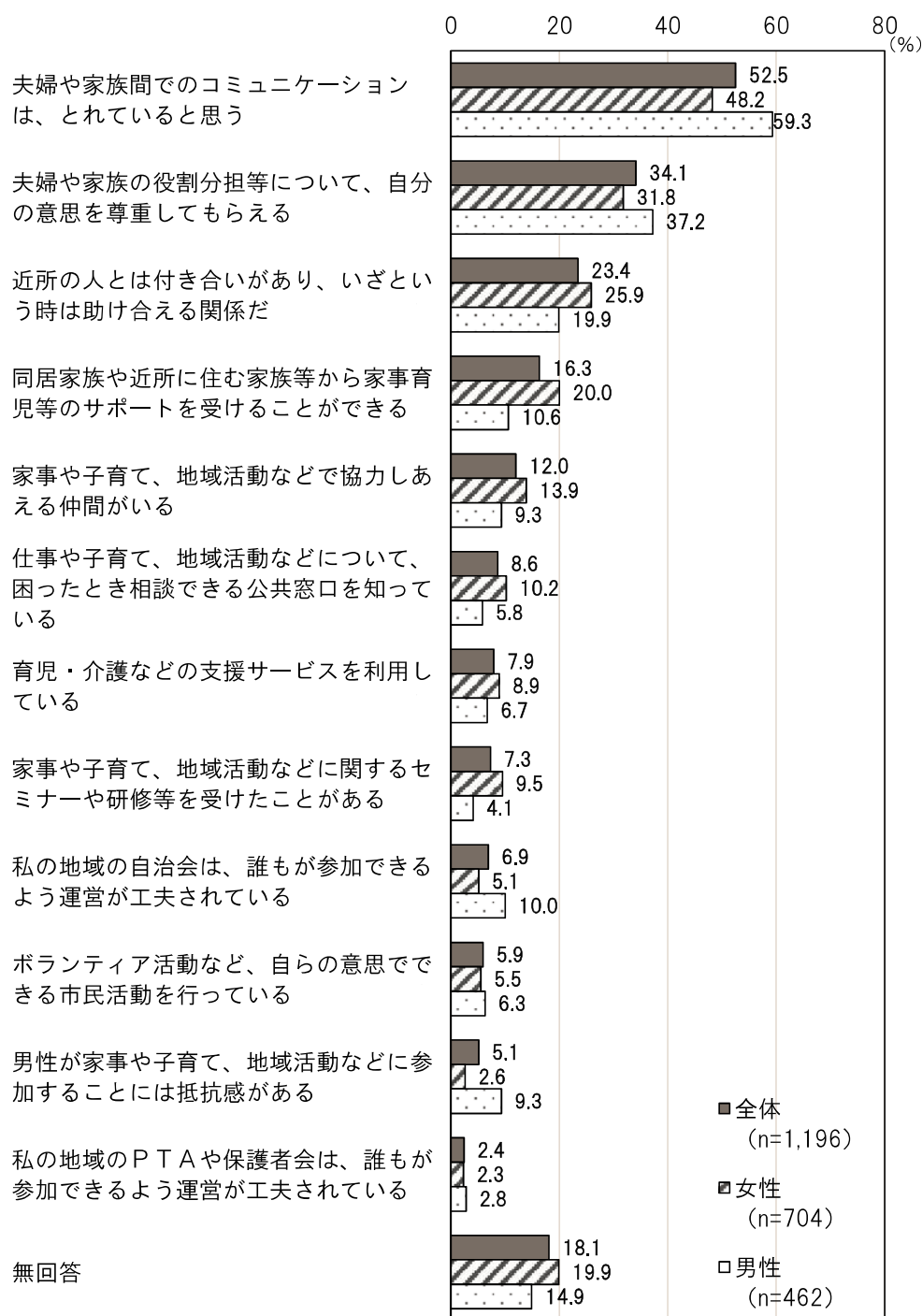
(%)

		回答者数	「仕事」を優先している	「家庭生活」を優先している	「地域・個人の生活」を優先している	「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	わからない	無回答
女性	未婚	196	43.9	6.1	4.6	26.0	4.6	2.6	2.6	6.6	3.1
	既婚・配偶者あり	309	14.2	39.8	1.0	28.2	1.0	6.5	5.8	2.3	1.3
	既婚・離死別	185	18.9	29.2	3.8	21.6	3.2	7.6	3.2	8.1	4.3
男性	未婚	100	37.0	11.0	4.0	19.0	5.0	7.0	1.0	11.0	5.0
	既婚・配偶者あり	314	30.6	16.9	1.0	34.1	2.5	5.1	4.8	4.1	1.0
	既婚・離死別	45	15.6	26.7	11.1	15.6	8.9	6.7	2.2	8.9	4.4

問 11 日常生活における考えや現状を教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

- ・日常生活における考えや現状については、「夫婦や家族間でのコミュニケーションは、とれていると思う」が52.5%と最も高く、次いで「夫婦や家族の役割分担等について、自分の意思を尊重してもらえる」(34.1%)、「近所の人とは付き合いがあり、いざという時は助け合える関係だ」(23.4%)となっています。
- ・性別にみると、「夫婦や家族間でのコミュニケーションは、とれていると思う」で男性が59.3%と、女性(48.2%)より高くなっています。



## 7. 子育ての考え方について

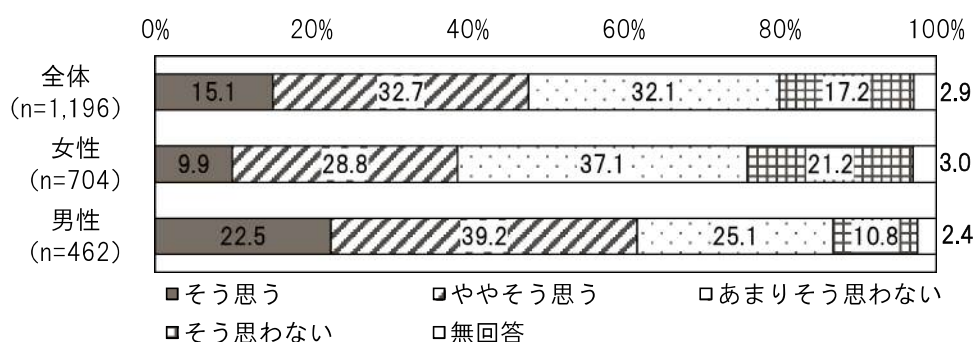
問 12 子育てについての次のような考え方をどう思いますか。(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

(1) 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるのがよい

(2) 男女区別せず、個人の能力や性格に応じて、その子らしく育てるのがよい

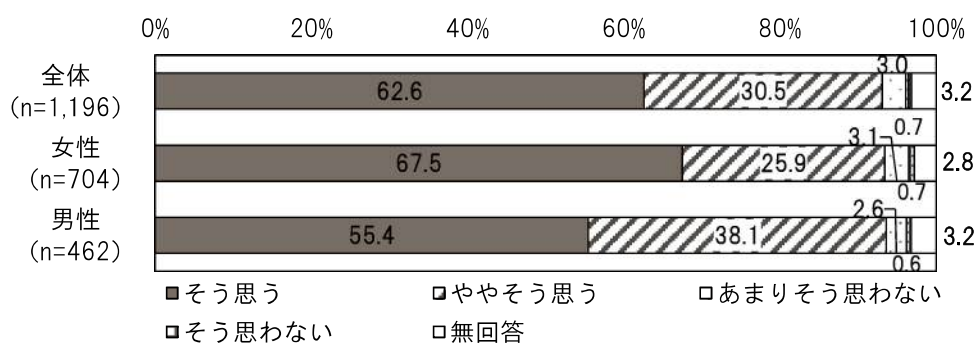
(1) 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるのがよい

- ・男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるのがよいという考え方については、「ややそう思う」が32.7%と最も高く、「そう思う」と合わせると47.8%となっています。
- ・性別にみると、女性で『そう思わない』（「あまりそう思わない」+「そう思わない」）が58.3%と、男性（35.9%）より22.4ポイント高くなっています。一方で、男性では『そう思う』（「そう思う」+「ややそう思う」）が61.7%と6割以上となっています。



(2) 男女区別せず、個人の能力や性格に応じて、その子らしく育てるのがよい

- ・男女区別せず、個人の能力や性格に応じて、その子らしく育てるのがよいという考え方については、「そう思う」が62.6%と最も高く、「ややそう思う」と合わせると93.1%となっています。
- ・性別による大きな差はみられません。



### 【前回調査との比較】

- ・前回調査と比較すると、(1) 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるのがよいという考え方について、『そう思わない』（「そう思わない」+「あまりそう思わない」）が全体で49.3%と、前回調査（38.3%）より11.0ポイント増加しています。(2) 男女区別せず、個人の能力や性格に応じて、その子らしく育てるのがよいという考え方については、大きな差はみられません。

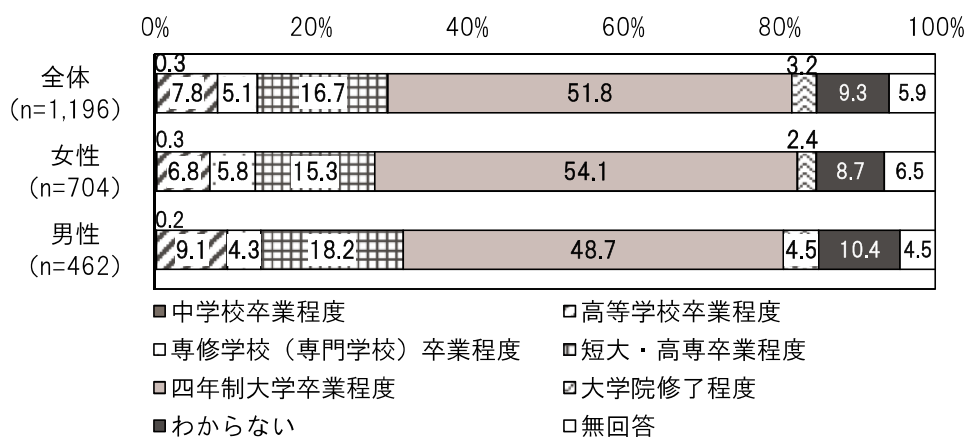
問 13 子どもの将来についてうかがいます。女の子、男の子、それぞれの場合について、お答えください。（それぞれ、あてはまるもの1つに○）

- (1) 子どもには、どの程度まで教育を受けさせたい（受けさせたかった）ですか  
 (2) 子どもには、将来どのような生き方をしてほしいと思いますか

(1) 子どもには、どの程度まで教育を受けさせたい（受けさせたかった）ですか

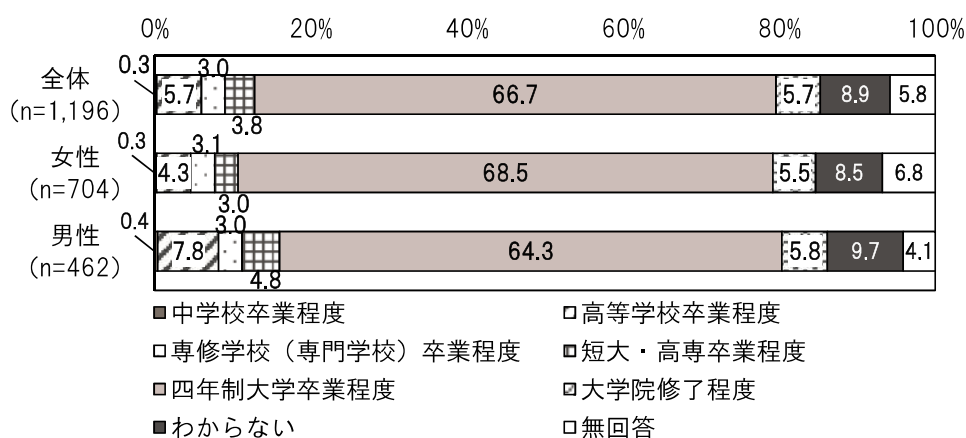
①女の子の場合

- ・子どもには、どの程度まで教育を受けさせたい（受けさせたかった）かについては、「四年制大学卒業程度」が51.8%と最も高く、次いで「短大・高専卒業程度」（16.7%）となっています。
- ・性別による大きな差はみられません。



②男の子の場合

- ・子どもには、どの程度まで教育を受けさせたい（受けさせたかった）かについては、「四年制大学卒業程度」が66.7%と最も高く、次いで「高等学校卒業程度」・「大学院修了程度」（5.7%）となっています。
- ・性別による大きな差はみられません。



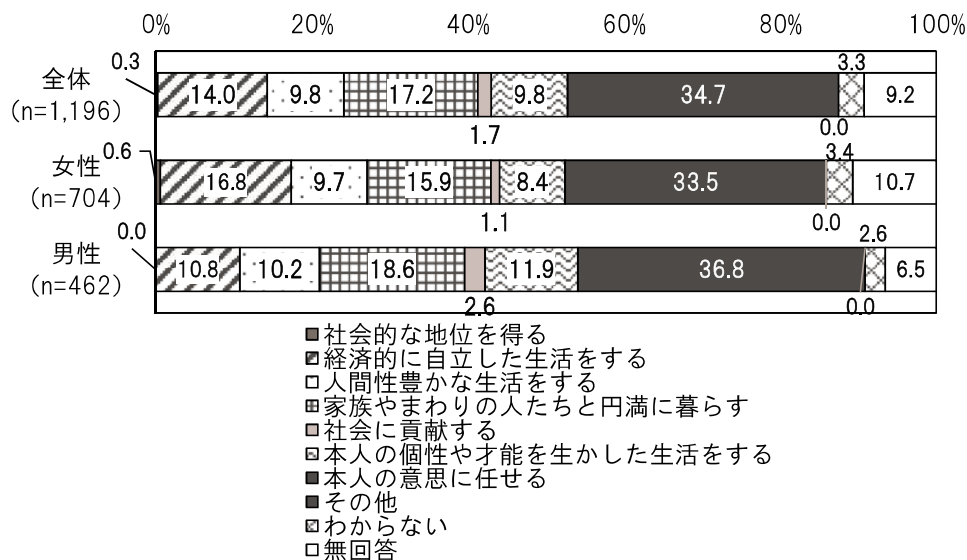
【前回調査との比較】

- ・前回調査と比較すると、①女の子の場合で、女性での「四年制大学卒業程度」が54.1%と、前回調査（48.8%）より5.3ポイント増加しています。②男の子の場合では、男性での「四年制大学卒業程度」が64.3%と、前回調査（71.0%）より6.7ポイント減少しています。

(2) 子どもには、将来どのような生き方をしてほしいと思いますか

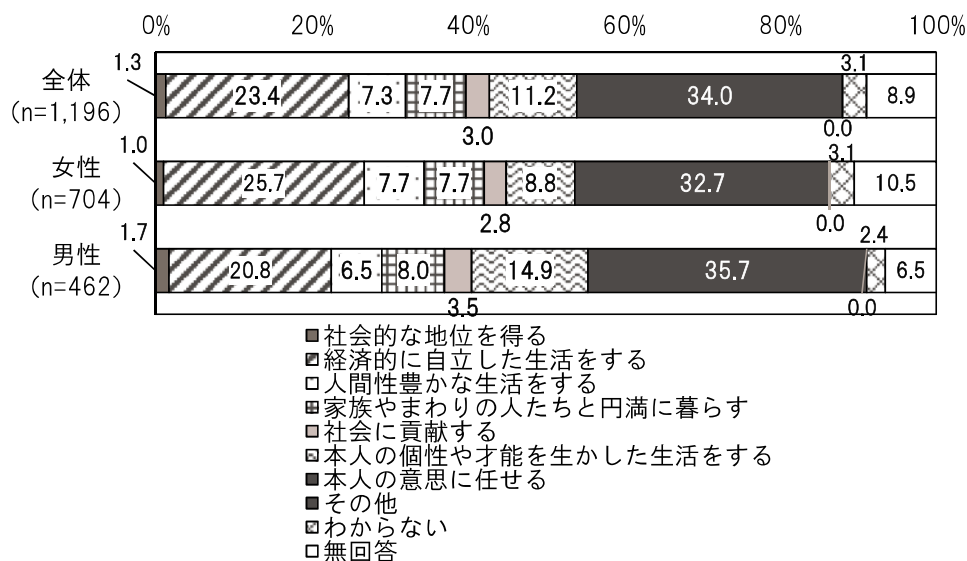
①女の子の場合

- ・子どもには、将来どのような生き方をしてほしいと思うかについては、「本人の意思に任せる」が34.7%と最も高く、次いで「家族やまわりの人たちと円満に暮らす」(17.2%)となっています。
- ・性別にみると、女性で「経済的に自立した生活をする」が16.8%と、男性(10.8%)よりやや高くなっています。



②男の子の場合

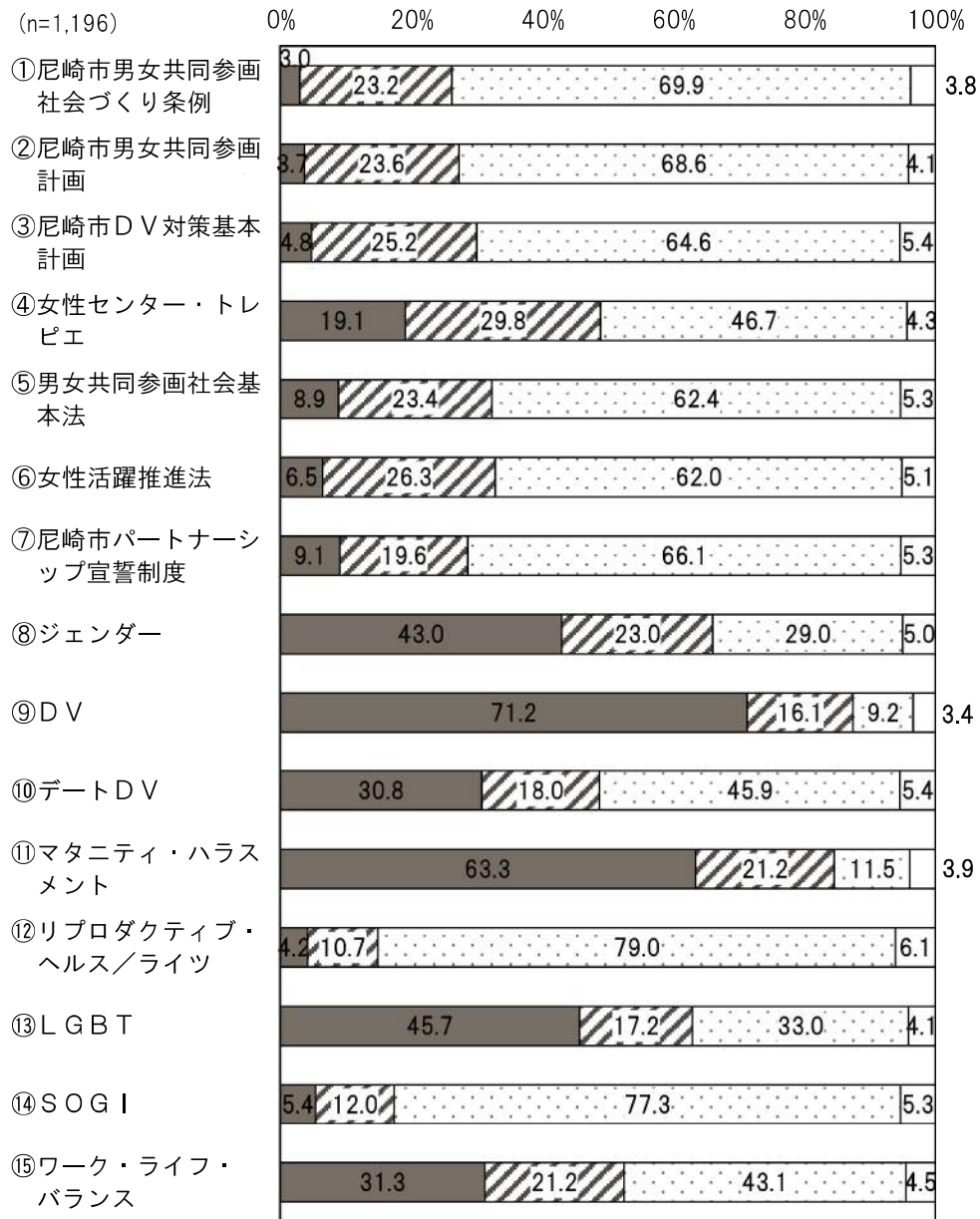
- ・子どもには、将来どのような生き方をしてほしいと思うかについては、「本人の意思に任せる」が34.0%と最も高く、次いで「経済的に自立した生活をする」(23.4%)となっています。
- ・性別にみると、女性で「経済的に自立した生活をする」が25.7%と、男性(20.8%)よりやや高くなっており、男性では「本人の個性や才能を生かした生活をする」が14.9%と、女性(8.8%)よりやや高くなっています。



8. 男女共同参画施策等の認知度について

問 14 次の①～⑮のことについて、どの程度ご存知ですか。(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

・男女共同参画施策等の認知度については、「⑨DV」・「⑪マタニティ・ハラスメント」で「言葉の意味や内容を知っている」が6割以上を占めています。



言葉の意味や内容を知っている  
 言葉は聞いたことがある  
 知らない  
 無回答

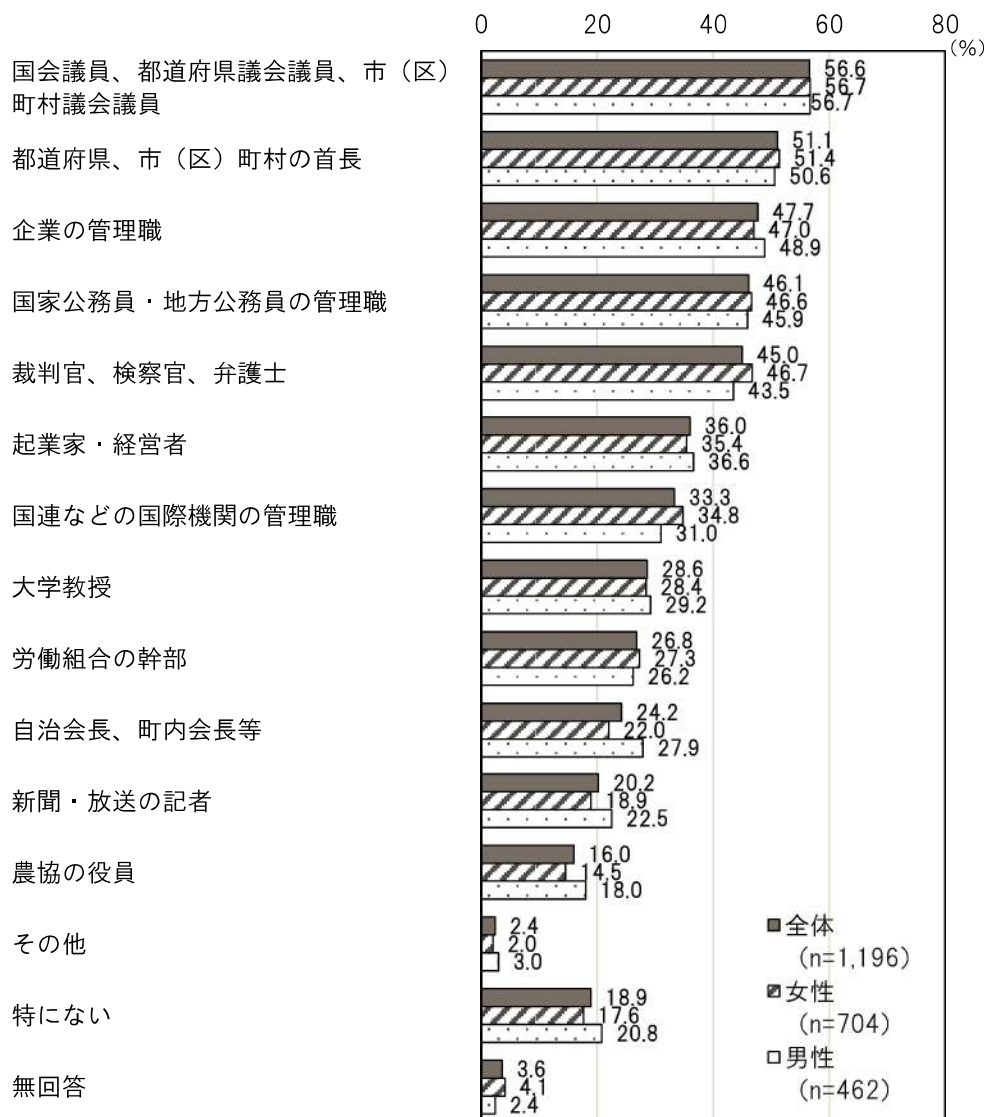
【前回調査との比較】

・前回調査と比較すると、前回より「⑧ジェンダー」についての認知度が19.8ポイント、「⑬LGBT」についての認知度が26.4ポイント増加しています。



問 15 次にあげるような職業や役職において、今後女性が増える方がよいと思うのはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- ・今後もっと女性が増える方がよい職業・役職については、「国会議員、都道府県議会議員、市（区）町村議会議員」が56.6%と最も高く、次いで「都道府県、市（区）町村の首長」（51.1%）、「企業の管理職」（47.7%）となっています。
- ・性別にみると、男性で「自治会長、町内会長等」が27.9%と、女性（22.0%）よりやや高くなっています。



【前回調査との比較】

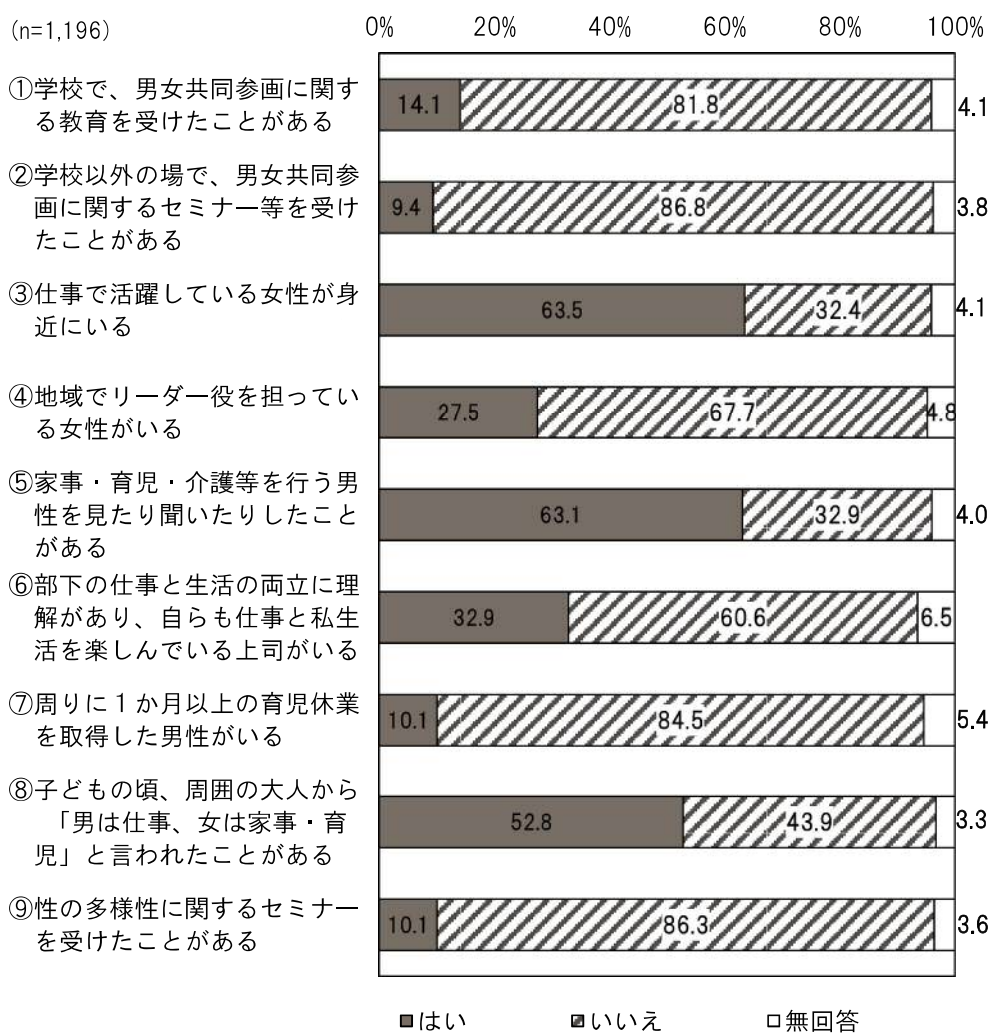
- ・前回調査と比較すると、「国会議員、都道府県議会議員、市（区）町村議会議員」が全体で56.6%と、前回（50.7%）より5.9ポイント増加しています。



## 9. 男女共同参画に関する経験について

問 16 男女共同参画に関する下記の①～⑨の項目について、あなたの経験を教えてください。  
(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

- ・男女共同参画に関する経験については、「③仕事で活躍している女性が身近にいる」・「⑤家事・育児・介護等を行う男性を見たり聞いたりしたことがある」・「⑧子どもの頃、親や教師など周囲の大人から「男は仕事、女は家事・育児」と言われたことがある」で「はい」が過半数を占めている一方で、それ以外の項目では「いいえ」が「はい」を上回る結果となっています。



【問2「男は仕事、女は家事・育児」についての考えとのクロス集計】

- ・「男は仕事、女は家事・育児」についての考えとのクロス集計をみると、「⑥部下の仕事と生活の両立に理解があり、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司がいる」・「⑨性の多様性に関するセミナーを受けたことがある」で経験がある人は、経験がない人より「男は仕事、女は家事・育児」という考えへの『不同意』（「どちらかといえば同感しない」+「同感しない」）の割合が10ポイント程度高くなっています。
- ・また、「⑧子どもの頃、親や教師などの周囲の大人から「男は仕事、女は家事・育児」と言われたことがある」で経験がある人は、経験がない人より「男は仕事、女は家事・育児」に対する『同意』（「同感する」+「どちらかといえば同感する」）の割合が高くなっています。

